



### 第28回 日高管内中学校英語暗唱大会 門別中学校の水上留衣さんが最優秀賞

10月18日、第28回日高管内中学校英語暗唱大会が富川公会堂で開催され、日高管内各町の代表14名が出場しました

日高町からは、学校での選考会と町内大会で選出された3名が出場し、日頃から練習を積み重ねた成果を発表しました。

3名の審査員による厳正な審査の結果、門別中学校の水上留衣さん(3年)が最優秀賞を受賞しました。

水上さんは、管内の代表として、札幌市で開催される全道大会へ出場しました。

(写真右が水上さん)



### 門別中学校演劇部の作品『楽しむ』の意味…』 アジア国際子ども映画祭北海道代表に選出！

兵庫県南あわじ市で開催される第5回アジア国際子ども映画祭の北海道ブロック大会が新ひだか町で開催されました。

道内から15点の応募があり、その中から門別中学校演劇部の制作した作品『楽しむ』の意味…』が奨励賞を受賞し、南あわじ市で開催される本選に参加することになりました。

門別中学校演劇部の作品は、演劇部の日常を題材として、夏休みを利用して制作されました。

部長の水上留衣さん(3年)は「新しいことに挑戦してみようと参加しました」と話していました。



### 日高「秋の味覚フェア」に大勢の観光客 新鮮野菜や山女魚など日高の秋を堪能！

10月23日、東日本大震災被災地支援イベントとして、日高「秋」の味覚フェア(日高町観光協会主催)が道の駅「樹海ロード日高」で開催されました。

今回は日高産の食材を使った「スープカレー」のほか、「たこおこわ」、たこやツブ入りの「シーフード焼きそば」「きのこ汁」など今が旬の食材がふんだんに使われたメニューが並び、道内外から訪れた来場者は足を止めて吟味していました。

生憎の雨模様となりましたが、お越しいただいた皆さんには、絶景の「日高の紅葉」と併せて、おいしい日高の「秋」を堪能していただきました。



### ㈱NIPPON 地域貢献活動を実施 駐車場など公共施設の環境整備

10月17日・20日の両日、日高自動車道日高門別IC舗装工事等を施工中の㈱NIPPON北海道支店様による地域貢献活動が行われました。

門別図書館郷土資料館玄関前は、古くなった歩道の枕木を撤去し、新たに舗装工事を実施。体の不自由な方のために駐車帯スペースの表示をしていただきました。

また、水・くらしサービスセンター横は、未舗装だった駐車場の舗装工事をしていただき、利用者の使いやすい環境に整備されました。



## 町へ多額寄附の寺島様・相木様に善行表彰 社会福祉寄附金として300万円の寄附

10月25日、日高町へ多額の寄附をされた寺島靖子様(札幌市)、相木英子様(同)の姉妹に、三輪町長から善行表彰が贈呈されました。

寺島様と相木様は、本年5月に亡くなった姉が生前に町にお世話になったお礼として、8月に町長室を訪れ、社会福祉寄附金として300万円の寄附をされました。

表彰は寺島様が経営する喫茶店で行い、とねっこの湯やパークゴルフの思い出を語りながら、故人を偲びました。



## 高齢者生活支援ハウス「日高せせらぎ荘オープン」 矢野建設グループ様寄付金を活用し新設

10月31日、晴天のなか、生活支援ハウス「日高せせらぎ荘」の開所式が行われました。

式には、建設に伴う費用を寄附していただいた矢野建設グループの皆さまをはじめ、建設に関わった皆さまなどが集まり、開所を祝しテープカットが行われました。

日高せせらぎ荘は、高齢者で生活に不安のある1人暮らしの方などを対象とし、援助員・宿直人より食事の提供や施設管理が行われます。施設には、居室や食堂、浴室などを備えてあり、安心した生活を送ることができるようになっています。

開所式の終了後には町民対象の内覧会も開催されました。



## D I Gファシリテーター養成講座開催 防災意識の向上や地域の結束を目指して

11月5日、6日の2日間、災害発生を想定し、地図上で対応を検討するD I G(災害図上訓練)のファシリテーター(講師)養成講座が富川中学校を会場に開催されました。日高町では一昨年から各町内会などでのD I Gの取り組みを推進しており、地震や津波など、各町内会毎に起こりうる災害を想定して開催してきました。

現在町内には、ファシリテーターと呼ばれる講師が3名いますが、D I Gを更に普及させるため、北海道教育大学札幌校の佐々木貴子准教授を講師に招き、初めて養成講座を開催しました。

講座には消防職員など26名が参加しました。



## 「平成23年度北海道青少年顕彰」全道15人選出 日高青少年自然の家の乗田健吾さんが受賞

平成23年度北海道青少年顕彰の伝達式が、11月1日行われ、国立日高青少年自然の家勤務の乗田健吾さんが受賞されました。

乗田さんは日高町出身で、大学卒業後に、「子どもとふれあう仕事がしたい」と現在の職場を希望され、日高へ戻ってきました。

たくさんの関係者が見守る中、日高振興局保健環境部の近藤参事から賞状を受け取った乗田さんは、「支えてくれた皆さんのおかげ。これからも子どもたちのために活動を続けていきたい」と話していました。